

新規採用教職員、看護師等医療職員

新入教職員をむかえ、各組合で加入呼びかけを実施

HPや携帯からもご加入できます



みんなで力を合わせれば解決できることがあります

今年も全国で仲間が増えています!

教育・研究・医療の充実のために!

全大教病院協議会幹事 早瀬 樹希 (名古屋大学附属病院 看護師)



全大教高専協議会議長 岡本 勝規 (富山高専国際ビジネス学科 教授)



全大教女性部長 三宅 良美 (秋田大学国際資源学研究所 教授)



全大教中央執行委員長 鳥畑 与一 (静岡大学経済学部 教授)



全大教新聞

2022年5月10日

第395号

【発行所】

全国大学高専教職員組合 (略称: 全大教)



【PDF版 (全面カラー)】 [http://zendaikyoo.or.jp/?page\\_id=107](http://zendaikyoo.or.jp/?page_id=107)

【電話】 03-6802-4250

【HP】 <http://zendaikyoo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-15 都築ビル2階

\* 組合員の購読料は組合費に含まれています (一部30円)

今月の紙面

- 1 高専機構本部理事長懇談を実施
- 2 公立大学協議会総会&交流会を開催
- 2 国会議員選挙「大学ラウンド」国際卓越研究大学に申し
- 2 論壇「フューチャーからヘゲルへ」新型コロナウ
- 3 イルス・パンデミックをめぐって
- 3 京都大学大学院文学研究科教授 大河内 泰樹
- 3 職場のQ&A ④資格手当、業務手当について

- 4 単組からのレポート
- 北海道大学
- 「情報公開から目指す職場環境の改善」九州工業大学
- 九州工業大学
- 「九州工業大学における組合活動」有明高専 「交流の場」と「交渉の場」をみんなでつくろう!



名古屋大学

病院オリエンテーションの一環として、新採用看護師への組合説明会を行いました。



秋田大学

今年も新人看護師オリエンテーションにおいて組合の説明を行うことが出来ました。参加者の間隔を十分確保するため、初めて2つの会場を結

説明後、名大職組役員や看護師OB等の応援で、組合加入用紙への記入を呼びかけました。組合だけが、病院長や学長と交渉できることや、昨年末に実施した「労働条件改善アンケート」で回答が多かった「給料が安い」、「夜勤回数が多く」、「休みがとりにくい」、「ハラスメント」等の問題を解決できるのは組合だけであることを紹介し、組合員が多いほど要求は通りやすくなること、加入を訴えました。また、加入後の組合員同士のつながりが重要なことから、医学部支部では4月中旬に歓迎会を開催する予定です。(佐々木 康俊)

んでの実施でした。説明では「働くみんなの声を届けよう!」をコンセプトに、組合の役割や本学における活動内容を説明。そして新人一人ひとりに対して、職場の環境づくりを人任せにしないこと。これから働く自分たちの勤務条件(就業規則等)に関心を持つこと。働く現場の声を届けることがより良い職場環境づくりにつながること。現場の声を届ける力をより強くするために、みなさんも組合に加入してほしいこと、等を呼びかけました。今後引き続き、未加入者への働きかけを行っていきます。(石川 洋基)



琉球大学病院

沖縄県のコロナウイルス新規感染者が1日1000人を超える状況の中、琉球大学病院では新規採用者173人の皆さんを迎えました。

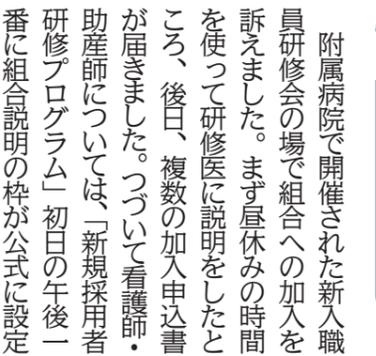


静岡大学

「新採用職員向け・新任教員向けガイダンス」の会場にて「お昼休み」の5分間を頂戴し、組合のパンフレットを配布しながらの口頭による説明

新採用者全員に組合資料を配布し、休憩時間に大講義室前のロビーに組合の説明ブースを設置し、組合説明を行いました。組合加入者への特典として、ホテルランチ食事券2500円相当やAmazonギフト券2000円分から加入者自身が選択できる方法を取りました。組合オリエンテーションは、消毒時間等の関係で調整できませんでしたが、大講義室前のロビーで1日を通して組合の説明が行えたことは初めての取り組みでした。当日の組合加入者は医師や調理師の方々の加入がありました。(山城 美奈子)

会を実施することができました。組合HPをスマホ対応にし、QRコードを勧誘パンフレットに掲載していたところ、5分間の説明会直後に入会希望の連絡が入り、執行部としても喜んでいるところです。その後も複数名の新規加入の申し込みがあり、これも毎年積極的な勧誘活動をしていただいている各学部・各支部(また個人)のお声掛けの成果であると思えます。新規加入者の期待に応えられる組合活動を今後も展開できるよう、皆さまと力を合わせて職場の労働条件・労働環境の維持・向上を目指します。(赤田 信一)



山口大学

附属病院で開催された新入職員研修会の中で組合への加入を訴えました。まず昼休みの時間を使って研修医に説明をしたところ、後日、複数の加入申込書が届きました。つづいて看護師・助産師については、「新規採用者研修プログラム」初日の午後一番に組合説明の枠が公式に設定

高専は大学よりも規模が小さいため、旭川高専では新規採用された教職員の皆さんへの組合勧誘を、年数回の新規教職員着任時に、少人数ごとに分けて行っています。この勧誘は講堂などではなく、組合室で資料を提示しながら、対象者と執行委員長・副委員長・書記長の3人が30分程度雑談をしながら和やかに行っております。また、教職員組合のチラシやポスター、手作りのPOPなどを教職員掲示板に貼り、組合の存在をアピールしております。今後も引き続き、教職員組合のメンバー増員、知名度向上に向けて取り組んでいきたい所存です。(菅 結実花)

されました。短い時間でしたが、法人化以後の組合の存在意義・成果やパワハラなどの被害に遭ってしまったとき頼りになるのは組合しかない、といったことを説明しました。休憩時間に数人から申込書提出があり、後日さらに学内便での追加申し込みもあり、昨年を上回る成果を得ることができました。この他に教員、事務職員にそれぞれ加入を呼びかけました。(森下 徹)

説明会にプラスして、最近時々行っている機関紙の全構成員への配布(36協定の特別条項引き上げ問題、団体交渉要求事項など)や組合掲示板を通して「組合の存在に気付いてもらう」ことから始められればと思います。昨年今年と、組合員のお誘いによる加入がありました。役員以外にも仲間づくりを意識する人を増やすことが大事だと感じています。(若本 吉弘)